

## こそだての森

### 里山のコミュニケーションサロン「そら」「森のアトリエ」

黒川公民館で迎えた三度目の夏、ふりかえればコロナ禍での活動の方が長くなっています。里山の自然との関わりや趣のある木造校舎は、閉塞しつつある気持ちを解放し、エネルギーを注いでくれるような貴重な場所になりました。午前アウトドアで身体を思いっきり動かし、お腹が空いたらウッドデッキで里山ランチ、午後はアトリエという「いつもと同じ」活動の流れも心がゆったりする大切な環境だと思っています。

「骨が流れてきた～鹿？どこの骨？」「クワガタの頭だけある～動いてる～どうして？」「こんな道発見！行ってみる？」…アウトドアでは、“今”にフォーカスするほど発見や出会いがあり、興味関心が広がっています。“自分軸でモノづくりを楽しむ”アトリエでは、木っ端や道具が用意されている木工コーナーが小学生に大人気。「今日はこれ作る～」と計画を立てていたり、モノづくりをしている大人の真似をした

り、親子でない大人と子どもがペアになっていたり、コピー片手に我が子の楽しそうな姿を眺める人もいます。「そら」で人気なのは、毎回面白い提案をしてくれる“よーちゃんのアトリエ”。工程を絵マップで確認しながら、自分のペースで作りに上げています。そして、最後はふりかえりの時間。活動の様子を大きなモニターで映し出しながら、発見や面白かったことを共有します。アトリエで作ったものをプレゼンするコーナーも自然発生しています。「そら」「森のアトリエ」は、里山の自然と人のコミュニケーションサロンになっているようです。(西川)



#### 2021年度NPO法人コクレオの森通常総会の報告

6月12日(土)に2021年度通常総会が開かれましたが、今年も新型コロナウイルス対策のためオンラインで行われました。その概要を報告します。

##### 【通常総会の議案】

(1) 2020年度事業報告 (2) 2020年度活動決算報告 (3) 2021年度事業計画 (4) 2021年度活動予算計画 (5) 理事の交代の5議案が提案された。

議案(1)～(4)については、全員異議なく承認された。

議案(5)は、現理事の辻岡拓郎氏から退任の申し出があったため、後任の理事を選ぶことになった。新理事に近江佳代子氏が推薦され、投票の結果、同氏が選ばれた。

辻岡さん、これまでありがとうございました。近江さん、これからよろしくお願ひします。(辻)

#### 『こどもの森のハッピーアドバイス』

##### シーズン2～自然体でいこう。～

「オンライン開催」

第2回 10月13日(水)「人生の悲劇は『いい子』に始まる」

第3回 11月10日(水)「わたしはわたし。あなたはあなた」

第4回 12月8日(水)「人生は自分次第～リフレーミング～」

時間：10時～12時 / 参加費：1500円 / 定員：12名

#### 『森のアトリエ』

(開催) 月1回土曜日：前期日程 9/25、10/23

後期日程 11/27、12/18、1/29、2/26、3/26

(対象) 小学生の親子

※活動によっては中学生もご参加いただけます。

#### 『親と子の土曜クラス そら in 里山』

(開催) 月2回土曜日 (対象) 満3歳～就学前の親子

#### 『一日がっこうと里山口ハス』

日時：11月7日(日)10:00～15:00 ※雨天決行 場所：豊能町 吉川自治会館

「一日がっこう」では、地域の方が講師になり、おとなも子どもも学べる一日かぎりの「がっこう」を開催します。

「里山口ハス」では、人にも地球にもやさしいお店や団体が集まり、マルシェを開きます。

※最新の情報はホームページをご確認ください。

#### 【編集後記】

編集期間中に新型コロナワクチンの2回目を接種しました。接種の翌日には腕の痛みに加えて、39℃を超える発熱も。結局2日間は寝て過ごす羽目になりましたが、少し安心は得られたかなと思います。子どもたちはまだ接種できず、デルタ株は子どもの感染リスクも高いと言われている状況ですので、子どもを守るためにできることはしておきたいですね。(足立)

発行日：2021年9月3日  
 発行者：認定NPO法人コクレオの森  
 〒562-0032  
 大阪府箕面市小野原西 6-15-31  
 TEL&FAX: 072-735-7676  
 メール：info@cokreono-mori.com  
 URL: https://cokreono-mori.com/



第5号夏季



# コクレオてらす



写真：こどもの森1学期の最後にハイチーズ！

## コクレオの森での日々～子どもも大人も自分を生きる、ともに生きる～

高原 麗奈

2013年に初めてこどもの森を訪れた時、校舎に広がる木の香りと学習室の手作りの温かさに、懐かしさを感じました。子どもたちがプロジェクトで好きなことに打ち込む姿、楽しそうに行事を作っていく様子。安心して自分を表現し、のびのびと過ごしている姿を見ながら「子ども時代って思いっきり自分を大切に幸せでいいんだなあ」という想いをもちました。

こどもの森では、子どもたちの自立的な学びを大切にしています。それは子どもを信じる周りの大人のまなざしから生まれているように感じています。6年間を中学部の子どもたちと過ごしたなかで、海外研修の見知らぬ街角で自然に話し合いがうまれトラブルを解決する姿、卒業プロジェクトで自分と向き合い好きなことや将来への想いを伝える姿、日常の様々な場面の中での子どもたちの姿から、こどもの森が大切にしてきた『子どもは自ら学ぶ意欲をもち、自らの力で学ぶことができる』という言葉の本当の意味を覚えてもらったように思います。

こどもの森では、安心してチャレンジしたり失敗したり、どんな自分もありのまま受けとめてもらえる環境があります。ある日、落ち込む出来事があった私に校長の藤田がかけてくれた言葉「何かあれば自分一人で受けるのではなく、スタッフのチー

ムで受けるから安心してください。自分たちに正直に、子どもたちの学びを紡いでいきましょう」…その言葉に心救われる思いがしました。目の前の子どもたちも、巣立っていった卒業生も、この時の私と同じように安心を感じながら、こどもの森で過ごしていったのかもしれない。

わくわく子ども学校から17年間、子どもたちを学びの真ん中に置いた学び場づくりが、試行錯誤しながら続けられてきました。どんな学びを大切にしたいか、子どもたちとの関わり方、スタッフとしてのあり方、教育を取りまく社会について、これまでスタッフみんなと、答えのない問いに対し、その時々で子どもたちを中心に最善の選択ができるように、真摯に対話を重ねてきました。今夏、こどもの森を退職するにあたりスタッフとしての時間が限られた今、それをより色濃く感じています。

子どもたち、保護者、想いを寄せてくださる多くの方々と一緒に、コクレオの森をともにつくってこられたこと。今振り返ってみるとどれも温かくかけがえのない日々でした。これからもコクレオの森の輪が、より豊かに広がっていくことを感謝とともに願っています。



## こどもの森



### こういう事がやりたかった

3月に長く勤めた公立小学校教員を退職し、4月からコクレオの森の仲間に入れていただきました。「大きな決断だね。」と言われることが多いのですが、私にとってはとても自然な流れの中でのありがたいご縁、という感じです。

数年前から物事の「本質」を考えることが増えたのですが、前の職場では「教育の本質」を考えることやそれを追い求めることはなかなか難しく、もどかしさを抱えていました。

こどもの森で1学期を過ごし、常に隣に本質があるように思います。本質について語り合うことが根付いている文化、そこから未来の社会を創造しようとする姿勢。学ぶことがとても多く、居心地の良さを感じます。

子どもたちの姿を見ていると、自分の思いは尊重されるんだ、という根っこが育っていることがわかります。自分の「好き」を見つめるプロジェクトや、何気ない出来事や思いをシェアしあうハッピータイムなどの様々な活動を通して、自分の軸や輪郭は丈夫になっていくのだなあと感じます。

2学期からもどんな驚きや発見があるかわくわくしています。まだまだ学ぶことばかりですが、この場に居させてもらえて本当に幸せで、周りの人や環境に感謝しながら過ごしていきたいと思っています。(塚本)



### 「心の豊かさ」に触れる日々

4月からこどもの森のスタッフとなりました。元々、コクレオの森は、Manabee やサスマナに参加する中で、とても素敵な場所だと思っていたのですが、スタッフとして1学期間を過ごしてみて、さらにその想いは強くなりました。イベントや講座に参加したり、本を読んだだけでは分からない、そこにいる人たちの「心の豊かさ」に触れたということが大きかったと思います。毎日が学びに溢れていて、本当に幸せな時間を過ごすことができている。そして、学校で過ごす時間以外でも同様に、自分の身の周りで起こっている、とても些細な幸せに目を向けられるようになったり、自分の心の状態を確認する習慣がついてきたりと、「自分も人も大切に」というコクレオの文化が少しずつ自分のものになってきたような感じがします。

まだまだ少数派かもしれませんが、私はコクレオの森の考え方や価値観は本当に素晴らしいと思っています。私はたまたまご縁があって、コクレオの森と出会うことができました。その感謝を胸に、これからもコクレオの森の一員として、一人でも多くの人にこの魅力を広めていけたらと思っています。どうぞよろしくお願ひします。(土居)



## 自分との対話

保護者より

我が家は、2人の娘がこどもの森でお世話になっています。元々、不登校がきっかけでコクレオの森と出会うことになったのですが、公立学校から転入した長女の変化をお伝えしたいと思います。

長女(小6)は、2年前の入学の時、「他人軸を強く感じます」と言われるほど、「周りからどう思われるか」「〇〇べき」をいつも気にしているような所がありました。半年前のある日、お友だちとケンカをしました。ケンカが終わるまでには数ヵ月かかりましたが、以前の彼女なら、周りの空気を悪くすることに申し訳なさを感じて、自分が謝ってケンカを早く終わらせていたかもしれません。そうではなく、粘り強く自分の感情を相手に伝えたり、自分の気持ちと何度も向き合うことができたのは、こどもの森では、自分も人も大切にするという安心感があり、「自己肯定感」「自己決定」「対話」が学校全体の中に風土として定着しているからこそだと思います。そして、こういった小さな積み重ねの経験が、とても貴重な時間だと感じています。(小野)



## トピック!

### コドモテラス & Insanis Days(インサニスデイズ) はじまります!

今号のコクレオてらす(以下:てらす)より、「コドモテラス」と「Insanis Days(インサニスデイズ)」という、箕面こどもの森学園に通う小学生と中学生がつくった通信を発行し、てらすと一緒にお届けすることになりました!コドモテラスは小学部の高学年、Insanis Daysは中学部の、それぞれ有志の人たちが中心になって作りました。てらすができる以前は「こどもの森通信」という名前で、子どもたちの自由作文や研究発表会の様子などを紹介してきましたが、てらすになってからは、子どもたちの声を届ける場所がありませんでした。そこで、この2つを発行することで、子どもたちが見る世界を言葉にし、普段の雰囲気などが少しでも感じられるものになればと思っています。コドモテラスでは、子どもたちがレイアウトを考え、インタビューやアンケートをとり、記事を書きました。Insanis Daysは、1学期に子どもたちに衝撃を与えたニワトリのゴマとシオの出来事が特集として組まれています。お茶のお供に、ぜひご覧ください。(藤丸)



## ミライの森

### 『一日がっこうと里山口ハス』を開催します!

11月7日(日)に、豊能町の吉川自治会館で、人にも地球にもやさしいお店が集まるマルシェ「里山口ハス」を開催します。一昨年末では、学園で「口ハス in こどもの森」としてやりましたが、昨年は「口ハスウィーク」として北摂のお店を紹介するマップ作りをしたり、オンラインフェスを行いました。今年は豊能町の吉川自治会館で一日がっこうと合わせた新しい形「里山口ハス」として開催します。手作りパン屋さんや、アロマ、鍼灸、手回し発電、占い、子どもたちが遊べるクラフトなど多様なお店が集まります。形は変われど、毎年あたたかく楽しい雰囲気のイベントになっています。

里山口ハスは、コクレオの森が思う「こんな未来になったらいいな」という想いをまず1日実現してみようという試みです。小さくても続けていくうちに、少しずつ持続可能な社会を望む人が増えたり、1日から少しずつ広がっていくことを願っています。楽しいイベントですので、ぜひご家族や友人とお越しください。

そして、同じ日時に「一日がっこう」も開催します!いわゆる「学校」とは少し違う、地域の人々が先生になり、自分の興味のある授業を選んで参加するというスタイルの「一日がっこう」。そこで暮らす人の顔を知り、繋がりを広げたいという想いと、都会の人に里山地域の魅力を伝えたいという想いから生まれました。私自身は里山地域の暮らしや人についてよく知らなかったのですが、自然豊かな豊能町での新しい出会いに心を弾ませながら準備をしています。そして、これから先も「一日がっこう」でできた繋がりを大切に、人と人との輪が少しずつ広がっていけばいいなと思っています。

エクササイズやじぶん新聞づくり、地域や福祉についてのお話、バリアフリーハーブ体験など、さまざまな授業を企画しています。今回が初開催の「一日がっこう」。何が起こるか分からない!きっと大人も子どもも楽しみながら新しい世界を知ることのできる機会になると思います!(矢吹&山本)



## おとなの森

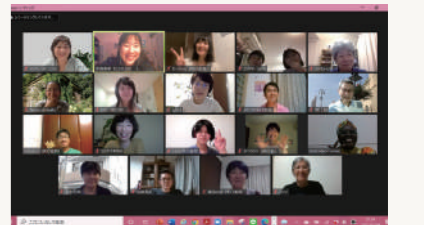
### 対話から生まれるものに「わくわく」する場

7月9日、第80回教育カフェマラソンでは永遠瑠(とわり)マリールイズさんを話題提供者にお迎えしました。「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子どもたちに、夢を取り戻してほしいという願いのもと、学校を運営されています。日本とも縁が深く、研修生として日本に滞在された経験があります。ルワンダで内戦が勃発した後、難民キャンプでの生活を余儀なくされましたが、研修生時代のご友人の尽力により、家族で再来日を果たされ、日本を拠点に命の尊さ、教育の大切さを訴える活動を続けています。

マリールイズさんからは子どもへの深い愛情と信頼を感じました。「子どもたち自身が何かを持っている。教育はその種に水をやるようなもの」と言われ、さらに「争いを生むのではなく、ともに生きるための教育を」と、力強い言葉で語られました。

今回幅広い年齢層の方が参加され、「教育は平和と発展のカギ、どんなものがカギになるか」「子どもたちに渡したいカギは何か」というテーマについて話し合いました。それぞれが生きる上で大切にしたいもの、受け渡していきたいものについて話がおよびました。参加した中学生からは「何のために学ぶのか」という問いが出ました。マリールイズさんは「何のために学ぶのか」という問いに、立場を問わず、みんなで考えていかなければならない」と言われ、「生きるために学ぶ」ということを伝えられました。最後には「生きていければいい、今日も生きていることを味わいましょう」と参加者に呼びかけられました。

終了後、マリールイズさんから「わくわくしています。出会いに感謝です」とのメッセージが届きました。何と素敵な表現だろうと思いました。対話を通してつながりの輪が広がり、そこから生まれてくるものに「わくわく」する。教育カフェマラソンでは、そのような場をこれからもみなさんとともに作っていききたいと思っています。(鍋内)





# コドモテラス

今回からコクレオテラスのこども版「コドモテラス」が始まりました！これからよろしくおねがいします

私は5年生のゴウマキ 銀間 季木です。コドモテラスに入った理由は写真をとったりレイトを考えたりに興味を持たからです。好きな事はたくさんあります！

お名前	2月19日	
お名前	うたらしら	
お名前	9月	4年生
お名前	クラタン	

4年生のかわのようです。お名前がうたらしらには、テラスでコクレオテラスを作るグループに入りたい理由、先週お話を聞いたのがあった。人にインタビューをするのがおもしろい。今回はコドモテラスでは1年生インタビューをしようとしています。よろしくおねがいします。

絵を描く事、マンガを読む事、あと食べる事とゴロゴロするのも大好きです。1年生からこどもの森に通って、学校の好きな所は何でもチャレンジできる所です。コドモテラスでは「ランキング」を担当しました。これからよろしくおねがいします。



私は4年生のトシウラヤミです。好きな食べ物は、トマトです。すきな食べ物は、トマトです。すきな食べ物は、トマトです。

ほとんどの名前が小鷹さんです。なぜコクレオテラスに入ったかというまとめたり書いたりするのが好きだから入りました。好きな食べ物ほとんどラーメンです。好きなことはおねがいします。コドモテラスではランキングおべんとうのおかすをしました。



## 1年生インタビュー!

- こどもの森の1年生、やさしい人々に聞きました!
- 1Q. こどもの森は楽しい? A. 楽しい!
  - 2Q. すきな活動の時間はなに? A. プロジェクタ
  - 3Q. プロジェクタでなにをするのが好き? A. サッカーと木工
  - 4Q. やすみ時間になにしてる? A. サッカー

やさしい人々にインタビューして、おねがいありがとうございます!

## 全校生徒に聞いた 将来のゆめランキング!

- 5票 1. ない・考え中 (小学部)
- 4票 2. サッカー選手・サッカー関連
- 3票 3. 絵をかく・自分の絵を世界に広める
- その他- マンガ家、平木。石油王のよめ。現実には甘くない。
- (中学部) なんと全員ちがうことをかいていたので「ランキング」になりました。こんなのがありました。
- お金持ち、仏。消防士。幸せにくずくずの夫。ヒーローの先生。人。カメラマン などなど。

イ本育祭実行委員では、最初に去年の反省点を話し、今年の体育祭をどうしたいかイメージをふくらませました。実行委員では日時間のことも話し合いました。スクールワークでは、いろいろなプログラムの案がでました。実行委員での話し合いは決まらないうちからいろいろおねがいして、成功してよかったです。

イ本育祭はいろいろな競技があります。一番人気はホッケーです。ルールはくわしいという言葉もたくさん聞きました。ほかに、セリあかせプログラムもおねがいです。おねがいの楽しみかたは、中学生の鬼からおねがいはかき出す時です。去年はサーカスの時におねがいはかき出す時です。今年はおねがいはかき出す時です。



- おべんとうのおかす / ランキング
- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 からあげ 8票  | 1 プロジェクタ 4票 |
| 2 たまごやき 7票 | 2 ことばかす 5票  |
| 3 ハンバーグ 6票 | 3 からたづぐり 4票 |
- その他... スパアリブ、母の手づくりなど
- 中学部 / 小学部 / 好きな時間



# INSANIS

# DAYS

VOL.1

こんにちは！InsanisDays(インサニステイズ)編集チームです！  
“Insanis”とは、ラテン語で「クレイジー」という意味です！  
よりなり/たつ/ふうかの三人で記事を書いていくのでよろしくお願ひします！  
ちなみにこのメンバーで昨年度、ESDの報告会に出席していたので、  
またこのメンバーで出来ることになったので光栄です！まずは自己紹介です！



こんにちは！中一の山添立樹です。

最近笑すぎて笑い疲れるっていうのが学校でよくあるやつです…w そんなのは置いといて、今回は自己紹介みたいな感じなんでよかったら最後まで見てくれると幸いです。今、プロジェクトという時間でLEDについて調べていて、蛍光灯からLEDに変えたらどれだけ節約できるかみたいなことを調べてます。自分は環境には興味があるというか出来ることには気を付けています。自分は話し合いとか司会をするのが好きなほうです。あと、機械をいじるのも好きです！そして、最近はペン回しにはまっています、もうすぐノーマルという技ができるのでがんばりたいです！（お母さんがペン回し、嫌ってあまりできていませんが…w）勉強とかで言うと自分ではだれからも何も言われずにマイペースでやるのが好きです！これから自分はInsanisDaysの記事を書いていきたいと思っているので、よろしくお願ひします！

名前:小松頼礼 居住地:京都府 趣味:自転車ツーリング、家庭菜園、読書

普段は家庭菜園で野菜を育てたり、折り畳み自転車で往復60km通学している、小松頼礼と申します。今年は野菜を売ること、自転車で四国を一周することに挑戦します。現在、試行錯誤して、四国一周に向けて準備をしています。自分にとって、面白く、楽しめる、大切な時間になればと思っています。次号ではその挑戦の報告を行う予定ですのでお楽しみに。

こどもの森に入った理由

自由な考えが許されにくい公立が嫌だった。そんな時ネットで見つけたのがこどもの森で、ワールドオリエンテーションや研修旅行、全校集会といった、話し合いを大切にしているところ、自分の学びたいように学べるところに惹かれたから。



Hello guys!

Nice to meet you! I'm PAK Fuka and ninth grade. I'm curious but I've found that I give things up easily. I usually solve Rubik's cubes when I free. My best time of 3by3 (the normal Rubik's cube) is 10seconds, and I can solve it in about 20seconds on average. The reason why I write this article in English is because I'm learning English in the school hard to study in an international high school for the near future, for example I sometimes write and talk in English or read some English books. And English has been becoming my personality, so I decided to write this article in English. And today I'd like to talk about what I do as a graduation project and to learn English. As a graduation project, I'm planning to make an app. And I'm searching how to make an app and how to start up a company. I'm going to make work on the project hard. If you want to listen in more detail, please come to our school to listen to our presentation of our graduation project in February. What I do to learn English is to write essay, and to read some English books. And I talk in English in Morning and Afternoon homeroom. In the essays, I write about something that I'm interested in and write my opinion about the theme. For reading, I read biography of Mother Teresa and TEZUKA Osamu in English. I was just reading them before, but recently I started to read them and summarize in my words (Of course in English). In our school, we have "Happy Time" and "Afternoon Meeting". In those times, we talk about what we do and feel today or recently. And I talk in English in those times.



## 特集 1 ゴマシオ日記



ご存じの方も多いと思いますが、実は学校で、5月から、鶏を2羽飼っていました。ですが、二週間ほどで小屋が何者かに破られ、2羽が惨殺されていました。今回は、鶏を飼い始めた経緯や、実際に飼ってみた感想等を書いてみました。



### 飼い始めた経緯・飼うまで

元々、鶏を飼い始めたのは、筆者が全校集会で鶏を飼うことを提案したのが始まりでした。私は以前から鶏を飼いたいと思っていました。そこで、「こどもの森に鶏がいたらいいだろうな〜」と思い、提案しました。ですが、すんなりはいかず、様々な問題が生まれました。「土日や長期休みの世話はどうするのか。」「小屋をどうやって準備するのか。」「鶏にとってストレスなのではないか。」「エサはどのようにして準備するのか。」などなど、スタッフやこども達から疑問や問題点を指摘され、鶏実行委員会を設立。1ヶ月以上の話し合いを重ね、「小屋は使っていない木の倉庫を改造し、再利用する。」「エサは各家庭から野菜のくずやヌカ、米等を持参してもらう。」などなど、色々あった問題も何とかクリアし、みんなからも了承を得ることができました。鶏は、筆者の知り合いの養鶏農家さんから、少額で購入させていただくことが決まりました。（文：中学部3年 朴）



### 出会い、そして突然の別れ..

2021年5月9日、バスに揺られること2時間。目的地の三重県伊賀市月ヶ瀬にある、「この指とまれ農場」に、鶏をいだけに行った。農場についてすぐ、農場の中で一番小さな鶏舎の中へ。そこには、10羽ほどの鶏がおり、その中から小松と朴、2人で名古屋コーチンと岡崎黄斑という種類の鶏を1羽ずついただいた。2人で鶏舎に入り、捕まえたのだが、あの時の鶏は、本当に体が温かくて、生きているという感触があった。以前、鶏を屠殺したときに感じた、温かさど、死んだ姿の鶏の体温の差をふと、その時思い出した。それから、2時間かけて、また学校に運び、小屋に入れるところまでを私たちが担った。道中、なんども鶏の様子を見、体調大丈夫そうかを確認し、そして学校へ到着。小屋に入った当初は少し戸惑っていた様子だったが、暫らくして餌を食べてくれたのには安心した。それから鶏との時間が始まり、毎日夕方に鶏を鶏舎に入れたり、餌をやったりして共に過ごしていた。だか、その日は、突然に終わった。子供たちが、鶏に興味を持ち始め、鶏たちも慣れはじめていたそんな矢先、鶏は、突然襲撃した野生動物に襲われ、命を失った。飼い始めてからおおよそ2週間。私と朴は、月曜日の朝、その事実を知り、とても悔しかった。もっと生きていてほしかった、できれば自分たちが命をいただくところまでやりたかった、と。小屋の清掃、鶏の飼育を終えた今、私たちは、もう一度鶏を飼うべく、日々話し合いを重ねている。

もう一度、飼いたい。もう一度取り組みたい。命をいただくということを体験してほしい。

という思いの下、今、鶏を飼うという動きは、リポートしはじめていたのであった。

(文：中学部3年 小松頼礼)

